

公益財団法人 CIESF (シーセフ)

『2012 年度教育アドバイザー募集』

国境なき教師団「教育アドバイザー派遣」について

ポルポトによる圧政により一度は教育制度が崩壊してしまったカンボジアでは、様々な支援団体の援助で少しずつ学校の数は増え徐々に教育設備は整いつつあります。しかし、学校の数は増えているものの「現場の教師は不足し、教育の質は非常に低いまま」という大きな問題が残されています。

なぜ教師の数や質が低いのか。それは30年以上前に行われたポルポト政権時代の知識層の大虐殺、教育制度廃止に起因します。当時の影響を直接受けた現職の先生たちの多くは、子供の頃に学校で十分な教育を受けておらず、基礎ができていません。その結果、現在でも理科の実験や観察を行ったことのない理科の先生や、コンパスや分度器の使い方を知らなかったり、児童が理解できるように説明できなかつたりする算数の先生が数多くいるのです。

「教える事」が十分にできない先生に教えられた子供たちは、学ぶことの本当の意味や楽しさを知らずに育ち、また基礎教育の不足によって、生活や人生をより豊かなものにしていく機会を得ることも困難になることが予想されます。

当財団は、このような悪循環を断ち切り学校でしっかりと学べる環境を作ることが、彼らの人生の選択の幅を拓ける助けとなると考え「国境なき教師団」を組織しました。日本から経験豊かなベテランの教師の方たちを「国境なき教師団」の教育アドバイザーとして、カンボジア国内の小学校教員養成所18校、中学校教員養成所6校の中からまず各2校に絞って派遣させていただきます。教師の方にはこれら教員養成校の教官を指導しながら、一緒に現地の状況にあった指導マニュアルの作成を行い、そのメソッドを広げていく事によって、カンボジア全国の小中学校の教師のレベルを上げていきます。尚、指導科目は理科と算数、数学に特化し、理科の実験方法や指導方法を指導していくことや、現地に即した理科実験道具の製作を行うことで、基礎教育の不足を改善する努力をします。今後、ラオス等、東南アジアの途上国へも「国境なき教師団」の活動地域を広げる予定です。

2012年度の教育アドバイザー派遣に関しましては、5名程度の派遣を予定しております。第一陣の派遣は2009年9月に行い、2011年7月現在で第四陣まで派遣を行っています。皆さまが、日本で教師として長年培ってきた経験や知恵を活かし、カンボジアの子供たちのために役立ててくださることは、私たちにとっても大きな喜びです。皆様のご参加を心より楽しみにお待ちしております。

公益財団法人 CIESF (シーセフ) 日本事務局
住所：東京都港区南青山 3-17-1 フロムファイブ 302
事務局長 戸田陽子
お問い合わせ：03-6439-5990 / info@ciesf.org

教育アドバイザーへの応募から派遣まで

1. 応募資格

小学校教師及び、中学校・高等学校の理数科教師経験者で健康な方。

(ビザの発給が困難と思われる事情を持つ方はご遠慮ください。)

語学に対する規定はございません。

2. 応募方法について

CIESF 事務所まで(住所等は下記記載)履歴書を郵送くださるか、メールに添付してお送りください。お送りいただいた履歴書の返却は致しませんので、必要な方はコピーを取って保管してください。

➤ 送付先：〒107-0062 東京都港区南青山 3-17-1 フロムファイブ 302

公益財団法人 CIESF

➤ メールアドレス：info@ciesf.org

3. 説明会について

カンボジアでの教師派遣経験者もしくは CIESF 現地事務所スタッフを講師に迎え、現地の生活等についての説明会を不定期(年 1,2 回程度)行います。ご興味のある方はまず、お問い合わせの上、説明会にご参加ください。

4. 選考方法について

応募書類に基づき担当者と面談の上、選考いたします。1次選考通過者で、希望者にはスタディツアー(自己負担)を実施いたします。スタディツアー参加者が合格となるわけではございません。スタディツアー終了後2次選考を行い、2次選考の可否結果をご連絡します。(目安：スタディツアー終了後2～3週間以内)

2次選考後、健康診断を受けていただき、健康上問題のない方には、内定をお出ししています。(目安：健康診断書提出後、1～2週間以内)

同意書にご署名いただきました後、最終合格といたします。

赴任日、赴任地につきましては、ご相談の上 CIESF からご依頼いたします。(定員がありますので、ご希望に添えない場合もございます。)

(健康診断はお近くの医療機関で受診後、健康診断書を作成ください。)

5. 派遣準備について

➤ 予防接種の実施(A/B型肝炎、破傷風、狂犬病の4種)費用はCIESFが負担しますので、領収書の保管をお願いします。

➤ 事前クメール語レッスン(東京の事務所で行いますので、遠方の方には対応できかねます。ご了承ください。)

➤ その他の手続き等に関する相談、手配(ビザ、保険等)

6. 派遣について

指導を行う1～2か月前に赴任し、まず現地の生活に慣れ、授業に対する準備をしていただきます。派遣時期は、カンボジア側の予定により決められますので、都度ご相談となります。

現地で必要な住居・備品等は CIESF で準備いたします。

7. 募集期間

特に応募締め切りは設けておりません。

派遣における待遇

1. 現地生活費について

生活費は、CIESF が定めた金額を支給いたします。この金額は、ボランティアとしての趣旨に基づいて、現地の人々と同程度の生活を営むために、物価などの調査に基づき定めたものです。また、メイドや通訳等にかかる経費は CIESF が負担いたします。

なおこの生活費は、現地の生活に要する費用で、給料や報酬ではありません。

2. 住居費

住居や家具等の備品は、CIESF が提供いたします。防犯等の面からも複数名での共同生活を願っています。各自 1 部屋ずつ確保いたします。

3. 往復渡航費

日本とカンボジアの往復にかかる赴任時の旅費（航空費、交通費等）は CIESF が負担します。また、2 年以上赴任される方には、1 年に 1 回健康診断等を兼ねた一時帰国制度がございます。こちらの旅費も CIESF が負担いたします。

4. 健康管理

2 年以上の派遣期間の方は、1 年に 1 度健康診断の受診をお願いします。

また計 3 回の 4 種（A、B 型肝炎、破傷風、狂犬病）予防接種を実施します（CIESF 負担）。派遣期間 1 年の方は 2 回となります。

現地では、日本語の通じる病院を手配しますが、医療体制において対応不可能な場合、隣国タイへの搬送となります。全員に海外赴任保険に加入していただいています（保険料 CIESF 負担）。

カンボジアは日本と同等の医療環境にはありません。普段からの健康管理は、個人の責任でお願いいたします。

5. 安全対策

居住地の場所によっては、夜間は警備員を雇います。

日本は、世界の中でも極めて治安のよい国のひとつです。現地では、日本と同じ感覚では、スリ、置き引き、ひったくりに遭いやすくなります。日常生活において、自分の手荷物等の管理はきちんと行ってください。また夜間の一人歩きなどは控えるようにしてください。凶悪事件は多くはありませんが、個人で犯罪や事故防止等の危機管理意識を持つことが大事です。

また、カンボジアの交通事情には問題点が多く、交通ルールが日本のようには守られていません。徒歩、自転車の場合も十分注意してください。慣れない日本人が車を運転することは困難とされています。

6. 派遣期間

1 年以上、以後は相談の上 1 年更新としています。

7. 語学

事前にカンボジア語（クメール語）のレッスンを実施いたします（挨拶程度まで習得予定）。また現地では、仕事中は通訳を手配いたします。日本人と日本語の話せる CIESF スタッフが常駐しておりますので、緊急の場合やご相談は携帯電話で連絡を取ってください。

英語に関しての選定規定はございませんが、日常会話程度はできる方が便利です。カンボジア国内では英語とクメール語が通じます。（英語に関してはある程度の教育を受けた人の場合のみ。）

8. 緊急国外退避

選挙やクーデターなどでカンボジアの治安情勢が悪化し、安全確保が困難になると判断される場合は、他国や国内の安全な場所に一時的に避難させる場合があります。（カンボジアの現在の情勢は安定していますので、急激な治安悪化は想定しておりません。）

9. 活動

- ① 小中学校教師養成校においてカウンターパートである教官（Teacher's teacher）の指導
 - ② 派遣教師の方々が協力して指導マニュアル作成
 - ③ 現地に即した理科実験道具・数学や算数の教具の製作
 - ④ 毎週簡単な活動報告書の作成
 - ⑤ 月に1度の教育アドバイザーミーティングへの参加
- 勤務時間や休日等は、配属先の条件に従ってください。

10. 移動手段

各自に自転車を提供。全員での移動時は車を使用いたします。

11. 生活

掃除、洗濯等については、隔日でメイドを派遣する予定です。

その他

1. 現在お勤めの方へ

自己啓発等休業制度の創設について定める「地方公務員法の一部を改正する法律」（平成 19 年法律第 46 号）に基づき各地方自治体が制定した条例の適用による、「自己啓発等休暇」（無給休職）を利用しての参加が考えられます。

2. 個人情報の取り扱いについて

応募で提供いただいた個人情報は、原則として下記にあげる目的に利用させていただきます。

- ① 派遣先関係機関への提供
- ② 事業実績の取りまとめ等、統計データの作成
- ③ ボランティアとして選考、研修、派遣などに関わる諸手続きに利用

公益財団法人 CIESF 日本事務局

東京都港区南青山 3-17-1 フロムファイブ 302

担当：増子夕夏

お問い合わせ：03-6439-5990 / info@ciesf.org

資格名	取得年月日

職務経歴 *最近のものから記入	勤務期間
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日
勤務先名	年 月 日～ 年 月 日

他ボランティア団体での経験 * 有・無

* 有と答えた方はご記入ください

団体名	期間: 年 月 日
団体名	期間: 年 月 日

応募の動機

健康状態